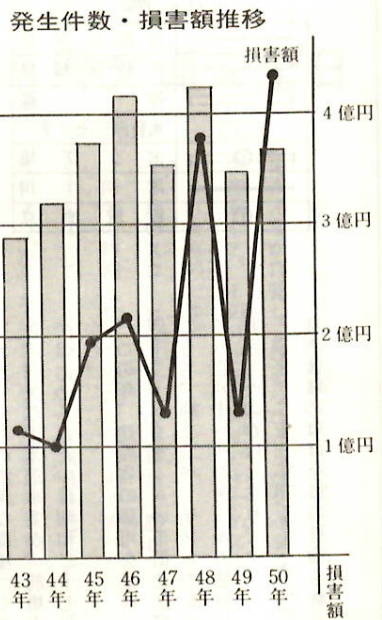




四億円が灰（50年中） 一日平均110万円燃える

前橋市の火災白書

○ として保存しておいてください いくつかまた お役にたつことと思います ○



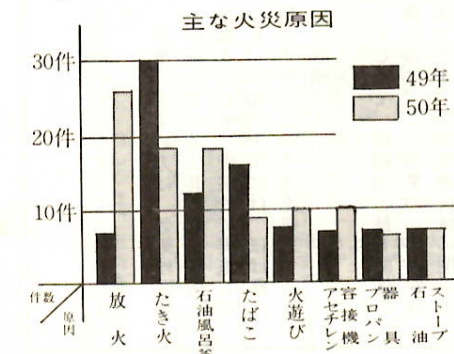
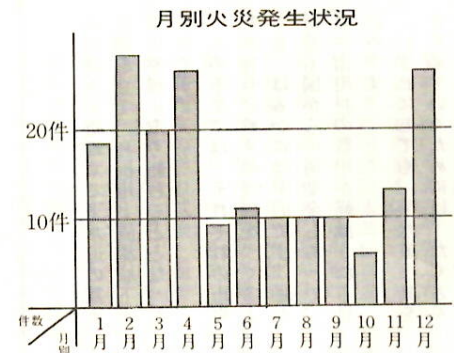
市消防本部では、昭和五十年中の火災の実態をまとめました。これによると、被害額は四億円、発生件数は百六十六件、焼死者四人と、四十九年にはせっかくダウンした火災も、再び増える傾向にあり、一層の注意が望まれます。

（前橋市消防本部）

△50年の火災の特徴▽
昭和五十年は、放火に明けたる年でした。一月七日の第一回放火事件から、二月二十七日まで、三河町、朝日町、駒形町など市の東部で連続十八件の火災が発生、地区の人たちによる夜警が行われるなど、市民を震え上らせました。続いて二月、三月にかけて利根川西で枯草火災が二十件もあり、出火件数の増加の一因にもなっています。六月、七月には間屋町で倉庫の火災が二件、被害額も大きく、これを含めて最終には四億円をこえ、四十九年の二倍以上、消防開設以来の最高という、不幸な結果となっています。

その後、十一月末までは火災も減少、火災の少なかつた前年とはほぼ同一の出火件数にとどまっていますが、年末にはいって急増、十二月下旬だけで十五件も発生するという状況で、四十九年より十一件も多い百六十六件という不幸な結果となっています。

△2月・4月に多い火災▽
火災の発生件数が多かったのは二月（24件）四月（23件）十二月（22件）三月（20件）で、この季節は、利根川西、間屋町での倉庫火事現場。



節は非常に空気が乾燥しているうえ、暖房器具など火を使う機会が多いためです。

とくに前橋市では、二月から四月にかけて強い、からっ風が吹くため、いったん火事が出ると大火災になりやすいわけですね。

△火災が多い、夕食どき▽
一日のうちで、いつ頃火事が多いかを見ると、午後二時から三時と、夕がたの六時ごろから九時までの間で、お茶の間の時間と夕食どきに最も多く集中していることが多く、やはりこの時間が火を使うことが多いためでしょう。

△3月に1件は住宅火災▽
年間百六十六件の火災のうち、六十一件が住宅火災です。住宅火災は直接個人が被害を受けるもので、最も悲惨です。そのうえ、焼死者のほとんども、この住宅火災で起きています。この住宅火災で百十世帯、四百六十六人が焼け出されています。

住宅火災に次いで多いのが工場事務所などの火災が五十四件、車両火災が六件、その他四十四件となっています。

△4人が焼死、21人が負傷▽
火災で四人が死亡、逃げ遅れや消火作業で二十一人がケガをしています。焼死四人のうち二人は工場の二階に寝ていて逃げ遅れたためです。過去八年間で三十一人が焼死していますが、このうち半分は老人、子ども、手足の不自由な人がたがです。こうした人たちは避難しやすい場所に寝かせるようにしたいものです。

△原因は放火、たき火の順▽
主な火災原因で、五十年のトップは放火（23件）続いてたき火の不始末（17件）石油風呂釜（17件）火遊び（10件）アセチレン溶接機（10件）タバコ（9件）プロパン器具（6件）石油ストーブ（5件）となっています。

連続放火事件で放火がトップ、たき火の火事は、火の粉がとんだ

り、急に風が強くなって枯草などに移ったというのが原因です。石油風呂釜は、炎の調整の悪かったもの、油漏れ、空だきなどです。タバコの投げ捨て、子どもの火遊びも多く、小型マッチの保管も家庭で気をつけたことのひとつです。

△桂堂、総社、永明の順▽
市街地では五十二件、新市域では桂堂（19件）総社（18件）永明（16件）元総社（15件）南橋（12件）が多く、少なかったのは下川淵（2件）清里（3件）上川淵（5件）となっています。

△これからがシーズン▽
ことしに入って、一月十五日までにすでに二十件の火災が起きています。十五棟、延べ千五百平方メートルが焼失、十四世帯、三十九人が焼け出されています。

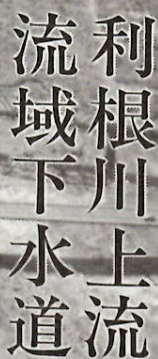
とくにこれから、からっ風の時期、一層の注意が望まれます。

△救急車出動二千八百件▽
五十年中の救急出動は二千八百八十八件（前年比百三十三件・五増）で、急病出動が交通事故出動を抜いてトップとなりました。内容は、急病（千四百五十五件）交通事故（千七百三十三件）一般負傷（二百五十二件）その他（四百十八件）と続きます。急病出動増加の傾向は、都市では同様現象がみられるものです。

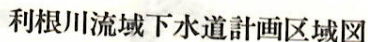
△火災以外の出動▽
都市災害は最近一段と複雑化しています。人命救助出動も四十八件にのぼり、年ごとに増加しています。

火災にはならなかった火事さわりも六十八件、危険物処理・水防関係も七十八件、合わせて百九十四件も出ています。

事業



市内を北から南に貫流する利根川



凡 例

この事業の目的

群馬県は大部分が利根川の流域に属しています。山岳部には多くのダムがあり、重要な水資源地域とともに、自然の景観にめぐまれた広域観光地帯となっています。

また、渋川以南の平野部は、本市や高崎市など県人口の約八〇パー

ーセントが集中して、都市的な生活をしていっています。

ところで、最近では県内平野部の人口が急速に増え、市部や周辺の町村では宅地化が進み、排出される下水で水路や河川の水の汚れが目だっています。これらの汚れた水は、ほとんどが利根川に流れ込み、そのままにしておくと、急

速に水質悪化がすみ、将来、魚も住めない。『死の川』ともなりかねません。

しかし、下水道の普及は公共団体の努力にもかかわらず大変遅れていて、県人口のわずかに十五パーセントにすぎません。今後、県人口の増加を考えると、県内の水質汚濁は、さらに急速にすすむものと考えられます。

このため、県では利根川流域の公共水域の自然環境が維持されるよう、各事業所の排水の汚れを規制するとともに、主として家庭か

らの排水を処理する下水道の基本計画を立て、利根川上流流域下水道の整備に取り組むこととなったわけです。

この事業では、それぞれの市町村が独自に終末処理場をつくるよりも、はるかに効率的です。また、財源も国からの補助金もあって、県や市町村の費用が軽減される見込みです。

いずれにしても、下水道事業をすすめていくためには、たくさんのお金と長い年月が必要です。みなさんの一層のご理解と協力をおねがひいたします。

大胡町、榛名町、箕郷町、甘楽町

この計画では、県内の利根川流域を①水上町②沼田市③渋川市④利根町⑤伊勢崎市⑥利根大塚⑦館林市⑧沼田川⑨利根川⑩利根川⑪利根川⑫利根川⑬利根川⑭利根川⑮利根川⑯利根川⑰利根川⑱利根川⑲利根川⑳利根川㉑利根川㉒利根川㉓利根川㉔利根川㉕利根川㉖利根川㉗利根川㉘利根川㉙利根川㉚利根川㉛利根川㉜利根川㉝利根川㉞利根川㉟利根川㊱利根川㊲利根川㊳利根川㊴利根川㊵利根川㊶利根川㊷利根川㊸利根川㊹利根川㊺利根川㊻利根川㊼利根川㊽利根川㊾利根川㊿利根川

き、食料市周辺の四流域に区分しています。

各関連市町村が実施する公共下水道の下水を、流域下水道幹線管

事業内容は、予定処理区域は五万ヘクタール、計画人口二百四十万人、幹線管渠（下水道管）延長は三百五キロ、終末処理場四か所で、事業期間は二十年となっています。

この事業に必要な費用は国が約七〇パーセントで、残りは県と関

ましたが、都市化の波は急テンポでひろがり、下水道区域の拡張も

わたしたちの清潔な環境づくり
に不可欠な下水道事業が、前橋市
ではじめられたのは昭和二十七年
から。

この年、建設省の認可を受け、四千二十ヘクタールの市街化区域

のうち、約二二パーセントにあたる八百八十一ヘクタールの整備に着手したのがはじまりです。

以来、二十三年間——当初の計画区域のほぼ全域の整備を終り

ましたが、都市化の波は急テンポでひろがり、下水道区域の拡張も強く要望されてきています。

そこで、市では都市計画法で現在決められている「市街化区域」の全域を「下水道計画」に取り入れ、引き続き未実施地区について積極的に事業をすすめていくことにしています。

今回の「利根川上流流域下水道計画」への包含によって、さらに本市の下水道事業のテンポが早められることが、大きく期待されています。

市立図書館 だより



歴史小説の本 のつどい

二月二十一日(土) 午後一時半から三時半まで、市立図書館講堂でひらきます。歴史小説に関する図書二百冊を展示、作家浅田晃彦さんによる「歴史小説あれこれー歴史小説の読み方」と題する講演があります。展示図書は自宅に借りられます。入場は無料です。

上州再発見シリーズ

2月9日 船津伝次平

2月16日 雪の藤原

2月23日 上州縁切寺満徳寺

上映時間は一回目が12時20分から、二回目が3時から、それぞれ30分間、視聴覚室で。

昼休みレコードコンサート

2月10日 旧ドボルザーク、交響曲第九番「新世界より」
2月17日 リリスト、ピアノ協奏曲第一番
2月24日 シャンソン特集
演奏時間は12時10分から50分まで。視聴覚室で。

スクリーン読書会

2月18日 母と子のお話し教室
絵本が大きく映り、幼児から楽しめます。上映時間は一回目が1時30分から、二回目が3時から、それぞれ30分間、視聴覚室で。

映画会

2月25日 富士山頂
強い意志と限らない探究心を

児童文化センター あんない



宇宙の不思議のひとつ大星雲

「プラネタリウム・2月のテーマ」望遠鏡では見られない宇宙のはてしなくどこまでも続いている。しかし、どこかに「はて」があるのだからうけれど……。その「はて」

はどんなになっっているのだろうか？
□こども映画会
たのしみながら知識や理解を深める科学や記録映画、交通安全映画、おもしろいまんが映画などを

って幾多の困難や障害にたえ、酷寒の富士山頂に高層気象観測所を作った一先覚者夫妻の業績を描く名作です。上映時間は一回目が12時20分から、二回目が3時から、それぞれ30分間です。視聴覚室。

AVE教材コンクール

作品募集

前橋市視聴覚ライブラリーでは視聴覚教育の充実と発展を期して自作教材への関心を高め、その実践と研究の資とするため、市民から作品を募集します。

□募集 映画フィルム(16ミリ・8ミリ) スライド・トランスベアレンシー、録音、録画、組写真、紙芝居。
□作品搬入期間 二月二十日から二十八日まで。市立図書館内、視聴覚ライブラリーへ。
□出品規定 ①出品者は、出品票(住所、氏名、種目、作品名、数量等)を明記したものを貼付すること。②作品は五十年三月から五十二年二月までに制作したものに限り

ます。
□審査 市内視聴覚教育の専門家による審査を行い、優秀作品には賞を贈ります。

上映します。

二月十五日(日) 午後一時三十分から三時まで。今月は「みにくいあひるの子」「泣いた赤おに」「群馬の習俗」などを上映します。自由に参加できますが、視聴覚室の定員は百人ですから、お早めにお出かけください。

□天文教室「バスに乗って冬の星座を見に行こう」
二月二十一日(土) 午後五時から八時まで(雨天・曇天のときは翌日) 金丸地区で行います。対象は小学校四年生以上中学生まで四十人です。講師は伊勢崎市立三郷小学校教諭、設楽善昭さん。受講料は無料です。筆記用具・防寒着を用意してください。
二月十四日(土) から申し込み

発表会(展示会)

三月十三日午後一時から五時まで市立図書館三階視聴覚室で。当日は16ミリ映写機操作講習会も行います。

赤城少年自然の家

スキー講習会

赤城少年自然の家では、二月十四日・十五日の二日間、広域圏内の前橋市、大胡町、富士見村、宮城村、柏川村に在住する初心者から中級者を対象にしたスキー講習



赤城少年自然の家でスキー講習を

会をひらきます。
定員は先着四十人まで。経費は①使用料(中学生以下二百円、未

成年四百円、成年六百円) ②食費(一泊三食八百五十円) ③その他(交通費、リフト代金、貸スキー代金など)。
参加希望者は、二月十三日までに市体育課(千代田町分室二階、電話32局六五三九)へ申し込んでください。なお当日は、赤城少年自然の家へ午後一時五十分までにお集りください。

スポーツ教室

母と子の卓球教室

市教委、市卓球協会の主催で、二月二十九日(日) 午前九時から県スポーツセンターで、卓球の技術と簡単なルールを学ぶ、「母と子の卓球教室」をひらきます。
参加資格は、①家庭婦人②中学生③小学生(高学年・保護者同伴)講師は、前橋市卓球協会強化技術部員。当日は、運動のできるしたくをし、上ばき、ラケット、昼食を用意してください。

参加希望者は二月二十日までに市体育課(電話32局六五三九)へ申し込んでください。

市児童館の行事

2月4日(水) Ⅱなわとび大会
2月12日(木) Ⅱおひなさまを作ろう(何も持たずに来てくだい)
2月18日(水) Ⅱ子ども映画会
セロひきのゴーシマ、小じか太郎ちゃん。

2月25日(水) Ⅱゲームあそび
3月3日(水) Ⅱおひなさまを作ろう(何も持たずに来てくだい)
○各行事とも午後3時にはじまります。時間に遅れないようにお出かけください。

広場 公民館ミニコミ版

寒風にめげず

清里地区元旦マラソン

清里地区では昨年に続き「元旦マラソン大会」が実施された。文明の発達によって生活は向上している一方、人間の体力は弱くなっているといわれ、最近では、一日五分の体操、縄とび、ランニングなど、健康を心がけている人も増えている。こうしたことから、地区の人たちの間に、マラソン熱が高まり、公民館、自治会が中心となって、地区行事のひとつとして実を結んだもの。

この日、おだやかな元旦で、まさにマラソン日和。
年齢別で四つのグループに分けられた選手たちは、思い思いのトレランやハチ巻き姿で勢ぞろい。

小学生と女子は一キロ、二十九歳までと四十五歳まで、四十六歳以上の男子は五・九キロを走るもの。地区一周のコースで、あちこちで「がんばれ!」と声援がしきり。

八歳から六十六歳まで七十四人が参加、途中棄権は一人。ほかは全員が完走という好成績。入賞にはほど遠かったけれど、完走できたことに自信を強め、喜び合う姿も見られた。この大会が行われるようになったから、地区内では早朝から夜間、トレーニングをしている人も目立ち、もう、来年の大会出場を楽しみにしている人もい



は「走ることは何といっても健康に一番。清里の年中行事に定着することをねがっています」と話している。

絵画展と人形劇

城南地区子ども大会

城南公民館と地区子ども会育成連絡協議会では、二月二十日から二十二日までの三日間、城南公民館で「子ども絵画展と人形劇のつどい」を開く。地区行事として実施されてから、ことしで五年目。
絵画展は各町の子ども会から出品された傑作を公民館ホールに陳列、各学年から優秀作品を選んで表彰。人形劇は二十一日午前十一時と午後一時からホールいっぱいのよい子たちの前で、劇団みっぴちによって、「竜になった三郎」はかが上演される予定。入場は無料。

なお、絵画展への出品は、城南地区の子ども会員なら誰でも自由です。町ごとにまとめて二月十四日までに城南公民館へ届けることになっている。

六番目のガールスカウト誕生
南橋地区 十一月二十四日、南橋公民館に四十六人の女子小学生が集って、群馬第三十八団ガールスカウトが誕生した。市内では六番目のもの。

毎月第二・三・四週の日曜日の午前、南橋公民館と荒牧町公民館とで交互に集会をもち、約束とおきてを唱和、群大の学生さんやママさんがリーダー奉仕をして指導にあたり、施設慰問や清掃奉仕、キャンプや歳末助け合いへの協力など幅広い活動を実施してきている。

「生まれたばかりの団体ですが、地域のかたがたの協力で、長くボランティア活動として受けつがれることを願っています。」——団長の都丸静江さん(荒牧町)は、そう語っている。【写真は南橋ガールスカウト発団式での、おやつ

の時間、から】

ハカリの検査 手数料改正に

計量法関係手数料令の一部改正によって、ことし一月から「ハカリの検査手数料」が引き上げられました。主な計量器の改正手数料は次のとおりです。

▽手動天びん 二百五十円。
▽棒はかり 20キロ以下 三十五円、50キロ以下 四十五円、100キロ以下 八十五円、1000キロ以上 百三十五円。
▽懸垂手動はかり 20キロ以下 百十円、100キロ以下 二百十円、200キロ以下 二百八十円、等比手動はかり 八十円。
▽皿手動はかり 二百円。
▽台手動はかり 20キロ以下 百四十円、100キロ以下 二百四十円、200キロ以下 二百九十円、500キロ以下 四百八十円、1トン以下 九百六十円、2トン以下 千七百円、5トン以下 二千二百円、10トン以下 五千円。

20トン以下 七千五百円、30トン以下 八千七百円、40トン以下 一万三千円、50トン以下 一万四千円。

△特別救済措置▽
▽特別指定業種を営む中小企業者が、売上減少により運転資金を借り入れする必要がある場合、市長の認定を受ければ、現在の借入保証とは別枠扱いで、信用保証協会の保証が受けられます。
保証限度は五千八百万円、保証期間は五年以内です。
△特別指定業種▽今回追加された業種は次のとおりです。(四十九年十一月一日号、五十年一月十五日号掲載の業種も含まれますのでご参照を—)

①砂、じり、玉石採取業②床板製造業③段ボール、紙管製造業および古紙処理加工業④ゴム製、プラスチック製はきもの、同附属品製造業⑤なめし皮製運動具製造業⑥ガラス製加工素材製造業、陶管製造業、研摩材、研削と石および砕石製造業⑦鋼管および圧延鋼、熱間圧延鋼、みかき棒鋼製造業、鉄線、くき、金鋼の製造業、可鍛鉄製造業および鉄鋼シャリット⑧アルミニウム再生業、アルミニウム合金製造業および非鉄金属製物製造業⑨機械刃物製造業、作業用具の製造業、建築用金属製品製造業、電気メッキ業およびボルト・ナット・リベット・小ネジ・木ねじ等製造業⑩荷役運搬設備製造業、油圧・空圧機器製造業および工業用ミシン製造業⑪鋼船または木船の製造・修理業⑫計量器・測定器・分析機器・試験機製造業、顕微鏡・望遠鏡等製造業、眼鏡製造業および時計

・同部分品製造業⑬アンチモン製品製造業、鉛製品製造業、プラスチック製品製造業およびマツチ製造業⑭一般貨物自動車運送業、特定貨物自動車運送業および通運業⑮沿海貨物運送業、河川または湖沼水運業および内航

船舶貨運業⑯機械工具製造業、食料品加工機械製造業、針状ころ軸受製造業および写真機用レンズ製造業の船体ブロック製造業および船舶用機関または船体部品の製造・修理業⑰木材チップ製造業⑱理化学用、医療用ガラス器具製造業、生コンクリート製造業、弁・同付属品製造業および玉軸受・ころ軸受製造業⑳鉄くず処理加工業

△認定基準▽最近三か月の月平均売上高が、前年同期間の月平均売上高と比べ、十パーセント以上減少していること。

△指定の期間▽昭和五十一年三月三十一日までに資金借入れ手続を完了するもの。

○詳しくは市役所工業課(電話24局一〇一内線三〇四)または群馬県信用保証協会(電話31局八八六)、市内の各金融機関の貸付担当係へご相談ください。

不況下、研修も真剣に—。

一一一内線二四九)または商工会議所業務課(電話24局二五一)へ申し込んでください。

複式簿記
講習会ひらく

企業経営にとって毎日の記帳事務は大変重要なことです。そこで、企業会計における仕訳から簡単な決算までの記帳知識と技術について学ぶ、複式簿記講習会を二月二十三日から三月十九日まで(土・日曜を除く二十日間)前橋商工会議所でひらきます。

講師は、前橋商業高校教諭、村田照美さん。受講料は三千円。定員は八十人。

受講希望のかたは、二月十四日までに受講料をそえて商政課(電話24局一一一内線二四九)または商工会議所事務指導課(電話24局一一一)へ申し込んでください。

その方法は、いくたびか改められながら、明治四十二年まで存続した。これは「此初八二石、天保七年困窮之節、右穀不救済に、機能果したことがうかがわれる。

しかし、この反面、同じ頃の上泉村で生活に窮した農民が農業の継続が困難となり、夜逃げ同様に離れ、放棄された田舎が村全体の六〇パーセントに達したという事実もある。封建社会の基本的構造に根ざす農村の荒廃は、郷蔵をもつていても解決し得なかったことを示すものである。

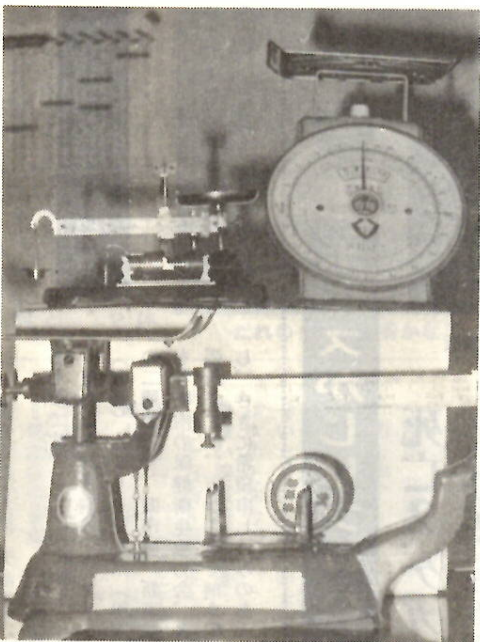
中世の末期、剣道史に名を残した上泉伊勢守の居城したという上泉城跡の中に、早稲の陽を受けて何ともなかったように静かにたたずむ郷蔵—。上泉町上宿一、四〇番地、昭和二十六年六月十九日群馬県指定史跡となっていた郷蔵の、厚い土壁に、当時の農民たちの汗がにじみこめられている。(写真：上泉郷蔵)

前橋の文化財めぐり①
上泉の郷蔵(ごうぐら)

赤城の山裾、桃木川と藤沢川にはさまれた上泉町—。ここに郷蔵(ごうぐら)が建てられたのは江戸時代のこと。郷蔵は、飢饉(ききん)などの備えとして、穀物を貯えるために幕府が各村ごとに建てたことを命じたものであるが、実際には三、四か村が共同でつくったものが多かった。

県内には、各所に郷蔵や関係文書が残っているが、現存する主な郷蔵は山田郡大間々町桐原、利根郡品川花咲、そしてこの上泉の三例がある。

この上泉の郷蔵は、間口が八間(一四・四〇メートル)奥行きが三間(五・四〇メートル)で、瓦葺き荒壁の土蔵で、今から百八十年前の寛政八年の創建とみられている。ここに貯えられたのは、麦、稗(もみ)、稗(ひえ)などであったが、



ハカリは常に正確に—検査もお忘れなく

石油ショック以来の原材料高騰、総需要抑制による景気の冷え込み、不況の長期化は予想以上に長く、特に中小企業への影響は大きく、数次にわたる不況対策にもかかわらず、依然として回復のめどもたらず、低迷状態が続いています。

このため、四十九年五月一日、中小企業信用保険法一部改正による中小企業の資金需要の円滑化促進、経営安定のための「特別救済措置」も数回延長されてきました。が、いまだその効果も定かでない、今回、さらに期限延長されることになりましたので、長期運転資金

を必要とする人はご検討ください。

△特別救済措置▽

△特別指定業種を営む中小企業者が、売上減少により運転資金を借り入れする必要がある場合、市長の認定を受ければ、現在の借入保証とは別枠扱いで、信用保証協会の保証が受けられます。

保証限度は五千八百万円、保証期間は五年以内です。

△特別指定業種▽今回追加された業種は次のとおりです。(四十九年十一月一日号、五十年一月十五日号掲載の業種も含まれますのでご参照を—)

①砂、じり、玉石採取業②床板製造業③段ボール、紙管製造業および古紙処理加工業④ゴム製、プラスチック製はきもの、同附属品製造業⑤なめし皮製運動具製造業⑥ガラス製加工素材製造業、陶管製造業、研摩材、研削と石および砕石製造業⑦鋼管および圧延鋼、熱間圧延鋼、みかき棒鋼製造業、鉄線、くき、金鋼の製造業、可鍛鉄製造業および鉄鋼シャリット⑧アルミニウム再生業、アルミニウム合金製造業および非鉄金属製物製造業⑨機械刃物製造業、作業用具の製造業、建築用金属製品製造業、電気メッキ業およびボルト・ナット・リベット・小ネジ・木ねじ等製造業⑩荷役運搬設備製造業、油圧・空圧機器製造業および工業用ミシン製造業⑪鋼船または木船の製造・修理業⑫計量器・測定器・分析機器・試験機製造業、顕微鏡・望遠鏡等製造業、眼鏡製造業および時計

・同部分品製造業⑬アンチモン製品製造業、鉛製品製造業、プラスチック製品製造業およびマツチ製造業⑭一般貨物自動車運送業、特定貨物自動車運送業および通運業⑮沿海貨物運送業、河川または湖沼水運業および内航

船舶貨運業⑯機械工具製造業、食料品加工機械製造業、針状ころ軸受製造業および写真機用レンズ製造業の船体ブロック製造業および船舶用機関または船体部品の製造・修理業⑰木材チップ製造業⑱理化学用、医療用ガラス器具製造業、生コンクリート製造業、弁・同付属品製造業および玉軸受・ころ軸受製造業⑲鉄くず処理加工業

△認定基準▽最近三か月の月平均売上高が、前年同期間の月平均売上高と比べ、十パーセント以上減少していること。

△指定の期間▽昭和五十一年三月三十一日までに資金借入れ手続を完了するもの。

○詳しくは市役所工業課(電話24局一〇一内線三〇四)または群馬県信用保証協会(電話31局八八六)、市内の各金融機関の貸付担当係へご相談ください。

不況下、研修も真剣に—。

一一一内線二四九)または商工会議所業務課(電話24局二五一)へ申し込んでください。

複式簿記
講習会ひらく

企業経営にとって毎日の記帳事務は大変重要なことです。そこで、企業会計における仕訳から簡単な決算までの記帳知識と技術について学ぶ、複式簿記講習会を二月二十三日から三月十九日まで(土・日曜を除く二十日間)前橋商工会議所でひらきます。

講師は、前橋商業高校教諭、村田照美さん。受講料は三千円。定員は八十人。

受講希望のかたは、二月十四日までに受講料をそえて商政課(電話24局一一一内線二四九)または商工会議所事務指導課(電話24局一一一)へ申し込んでください。

その方法は、いくたびか改められながら、明治四十二年まで存続した。これは「此初八二石、天保七年困窮之節、右穀不救済に、機能果したことがうかがわれる。

しかし、この反面、同じ頃の上泉村で生活に窮した農民が農業の継続が困難となり、夜逃げ同様に離れ、放棄された田舎が村全体の六〇パーセントに達したという事実もある。封建社会の基本的構造に根ざす農村の荒廃は、郷蔵をもつていても解決し得なかったことを示すものである。

中世の末期、剣道史に名を残した上泉伊勢守の居城したという上泉城跡の中に、早稲の陽を受けて何ともなかったように静かにたたずむ郷蔵—。上泉町上宿一、四〇番地、昭和二十六年六月十九日群馬県指定史跡となっていた郷蔵の、厚い土壁に、当時の農民たちの汗がにじみこめられている。(写真：上泉郷蔵)

前橋の文化財めぐり①
上泉の郷蔵(ごうぐら)

赤城の山裾、桃木川と藤沢川にはさまれた上泉町—。ここに郷蔵(ごうぐら)が建てられたのは江戸時代のこと。郷蔵は、飢饉(ききん)などの備えとして、穀物を貯えるために幕府が各村ごとに建てたことを命じたものであるが、実際には三、四か村が共同でつくったものが多かった。

県内には、各所に郷蔵や関係文書が残っているが、現存する主な郷蔵は山田郡大間々町桐原、利根郡品川花咲、そしてこの上泉の三例がある。

この上泉の郷蔵は、間口が八間(一四・四〇メートル)奥行きが三間(五・四〇メートル)で、瓦葺き荒壁の土蔵で、今から百八十年前の寛政八年の創建とみられている。ここに貯えられたのは、麦、稗(もみ)、稗(ひえ)などであったが、

このたび恩給法の一部が改正され、昭和五十年八月一日にさかのぼって実施されることになりました。旧軍人の一時恩給と加算改定については次のとおりです。

□旧軍人に対する一時恩給等の支給範囲の拡大

旧軍人に対する一時恩給または一時扶助料は、従来、引き続き実在職年(実際に勤めた年数)が三年以上七年以上未満の下士官以上の旧軍人に對し、下士官以上の旧軍人(戦地加算などを含む年数)が六か月以上であることを条件と

して支給することになっていましたが、今回、兵を含めて引き続き実在職年が三年以上ありながら、これまで一時恩給等が支給されなかった旧軍人の一時恩給等の支給範囲の拡大

旧軍人の一時恩給と加算改定請求

の算入要件の緩和

昭和四十八年から七十歳以上の老齢者、傷病恩給受給者および妻子に給する普通恩給、または扶助料については、実在職年と合わせ

て四十年に達するまで、すべての加算年(戦地加算など)を、実在職年と同様に年額計算の基礎に職年計算することになります。

今回、この加算年算入措置の対象となる年齢が五歳引き下げられ、六十五歳以上の人についても適用されることになりました。

○これらに関する請求手続きや不明な点については、市厚生課(電話24局一一一内線三五二)または県庁庶務課(電話23局一一一内線三四〇)へお問い合わせください。

なお、改正前の規定に該当しないが、まだ手続きのすんでいないかたは、早急にお申し出ください。

セールスマン研修会

企業が不況に見舞われた現代を乗り切り発展するには、販売力を強化しなければなりません。そこで、得意先管理、販売促進の手法などを学ぶ「セールスマン研修会」を二月十六日・十七日の二日間午後六時から九時まで、前橋問屋会館でひらきます。

テーマは「得意先管理と販売促進のすすめ方」。講師は経営コンサルタントの林道松治郎さん。定員は六十人、受講料は二千元。希望者は、市商政課(電話24局

2月の市税
国民健康保険税
第6期

納期限は3月1日までです。お早めに納付してください。

その方法は、いくたびか改められながら、明治四十二年まで存続した。これは「此初八二石、天保七年困窮之節、右穀不救済に、機能果したことがうかがわれる。

しかし、この反面、同じ頃の上泉村で生活に窮した農民が農業の継続が困難となり、夜逃げ同様に離れ、放棄された田舎が村全体の六〇パーセントに達したという事実もある。封建社会の基本的構造に根ざす農村の荒廃は、郷蔵をもつていても解決し得なかったことを示すものである。

中世の末期、剣道史に名を残した上泉伊勢守の居城したという上泉城跡の中に、早稲の陽を受けて何ともなかったように静かにたたずむ郷蔵—。上泉町上宿一、四〇番地、昭和二十六年六月十九日群馬県指定史跡となっていた郷蔵の、厚い土壁に、当時の農民たちの汗がにじみこめられている。(写真：上泉郷蔵)

前橋の文化財めぐり①
上泉の郷蔵(ごうぐら)

赤城の山裾、桃木川と藤沢川にはさまれた上泉町—。ここに郷蔵(ごうぐら)が建てられたのは江戸時代のこと。郷蔵は、飢饉(ききん)などの備えとして、穀物を貯えるために幕府が各村ごとに建てたことを命じたものであるが、実際には三、四か村が共同でつくったものが多かった。

県内には、各所に郷蔵や関係文書が残っているが、現存する主な郷蔵は山田郡大間々町桐原、利根郡品川花咲、そしてこの上泉の三例がある。

この上泉の郷蔵は、間口が八間(一四・四〇メートル)奥行きが三間(五・四〇メートル)で、瓦葺き荒壁の土蔵で、今から百八十年前の寛政八年の創建とみられている。ここに貯えられたのは、麦、稗(もみ)、稗(ひえ)などであったが、



上泉の郷蔵(ごうぐら)

憎いヤツ！ ネズミ

全市いっせいのネズミ撲滅作戦

市では二月十日から二十日までの間、殺そ剤による「全市いっせいのネズミ撲滅大作戦」を実施します。ネズミがわたしたち人間生活に与える損害は、はかり知れないものがあります。みんなで住みよい家庭や社会をつくるために、まず、お宅のネズミ撲滅が第一歩です。

家ネズミ退治

市が今回実施する「全市いっせいのネズミ撲滅大作戦」は、野ねずみ駆除と並行して毎年行われている。

るものです。

使われる殺そ剤は、クマリン系（固形）とシリンドロ系（粉末）の二種類です。旧市域、新市域とも各町内の保健衛生協力会、各出張所にて、市から殺そ剤を配布し、さきに希望申し込みのあった

ネズミ撲滅大作戦

一軒だけで退治して

ホースかじりフロハン大爆発

憎いネズミ

八幡浜

死亡2、ケガ11人 住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

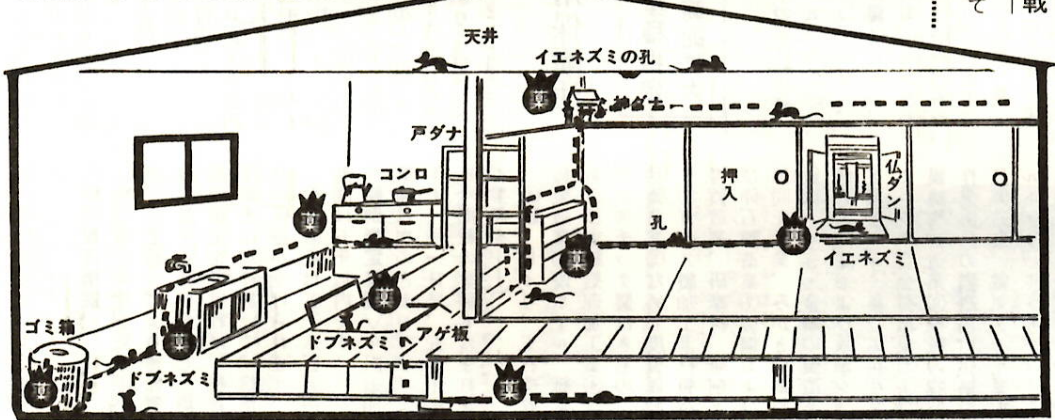
住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

住宅など6むね焼く

毒餌配置

こんな場所にエサをおくと効果的です。ネズミ道を見つけて、その近くに置きましょう。



えません。ですから、自然と安全な「ネズミ道」を通るのです。殺そ剤をネズミ道に置くことです。

◆ ◆ ◆

誰にもかたんに「ネズミ道」を見つかることは困難です。ですから、ネズミがどこを通っても、最初に出来るかぎり、数多く、あちこちに薬を置くことが必要です。そして、翌朝ネズミが全食を食べていなかったところは取り除いて、少しでも食べているところへ薬を補充して、これを三〜五日間続けることです。

◆ ◆ ◆

殺そ剤を使うときの注意

●クマリン系の殺そ剤

大きな袋で、一袋に百グラムずつ入っています。この薬の特長はネズミがこれを食べると必ず死なないで、少しづつ五日か六日ぐらいいく食べ続けると死ぬという「安全性」のあるものです。子どものいる家庭には最適です。

使いかたは、台所、ネズミのフンのあるところ、通ったあとのあるところ、出入口から一メートルくらい離れた物かげに置きましょう。紙を敷いたりするときは、古い紙がよく、新しい紙はインクのおいがして、食べません。

二十粒ぐらい置いて、十粒ぐらい食べたなら、翌日はまた二十粒に足して、食べなくなるまで続けてください。食べなくなったとき、ネズミは死んでいます。一袋で数か所に置くことができます。

●シリンドロ系の殺そ剤

小さな袋に入っている新しいタイプの殺そ剤です。特長は、ネズミがこれを食べると十時間以内に死ぬ速効性のあるものです。

この薬は、ネズミが直接食べなくてもからだに付着しそれをなめるだけで死ぬという強い殺そ剤です。これは、子どものいない家庭で使われるよう、とくにご注意ください。

これらの殺そ剤は、薬とエサと二つの袋になっています。混合して使ってください。床が濡れているところは、皿などを使って、薬が濡れないようにしてください。

野ネズミ退治

野ネズミ退治は、田畑にネズミのエサが乏しい今が好期——市では全市内の農耕地を対象に、各農協が実施主体となって、野ネズミ撲滅作戦を実施します。

農家のみなさんはもちろん、非農家のみなさんも危険防止についてご協力ください。

各地区の実施日程

2月8日 旧市域、上川端、南部、東、元総社、総社、清里、荒砥の各農協地域。

2月15日 芳賀、桂賀、南橋、木瀬の各農協地域。

薬剤使用上の注意

薬は固形一〇八〇（特定毒物モノフルオール酢酸ナトリウム）・二ミリグラム含有（一粒中）が使われますが、この薬剤は毒性が強く、ごく少量でも中毒を起こしますので、作業する人は特に注意してください。

薬剤は個人での所持と使用が禁止されています。自宅に持ち帰って使うことはできません。

駆除を実施した日から十日間くらいは、田畑に入らないようにしてください。犬、猫、鶏などは一か月くらい、つないでおくなどして、田畑に近づけないようにしてください。

野ねずみ、小鳥などの死体をみつけたら、土の中に埋めてください。

——実施日程に多少の変更があることもあります。くわしくは最寄りの農協か市農業共済課（電話24局一一一内線三二二）へお問い合わせください。

はかり知れない ネズミの被害

日本人は、どちらかといえば、ネズミの被害に対してよりも、あのあいきょうない傾向があるようです。

それというのも、日本に生息している家ネズミだけでも、人口の約三倍もいるといわれ、ネズミ不感症になっているようです。彼等が食べる一年間の食物を、米穀に換算すると、約百万トンを超えるといわれるほどです。食いのうらみは……ということばがありますが、これだけ食べられても、ほとんどグチもこぼさない日本人は、ひどい「ネズミ不感症」にかかっていると思いませんか。

このほか、ネズミがガスのゴムホースをかじってガスが漏れから爆発を起した、電線をかじって停電になった、赤ちゃんネズミにかじられてケガをしたなどの被害も続発しています。

ネズミの被害は、わたしたちの環境衛生上にも、大きな問題を投げかけています。たとえば、ネズミのフンは、しばしばサルモネラ菌の中毒を起し、ワイル病、ペスト、コレラ、腸チフス、パラチフスなどの伝染病もネズミの媒介によるものが多く、家畜に対しても病原菌をよき散らしています。

繁華街も、夜ふけになるとネズミの天下です。ネコもわが大きなネズミに、何度か出会ったというの、大げさな話でなく、なんともいえない。

どんな環境でも住みつけるネズミの順応性と繁殖のすさまじさに驚いてばかりは、彼等の撲滅を積極的に行いたいものです。

△日本のネズミ▽

日本には、野ネズミを合わせて十四種類のネズミがいるといわれます。一般的には、家屋の内外に住んでいるのはクマリン系、ドブネズミ、ハツカネズミの三種といわれています。

クマリン系は、もとと樹上に住んでいて、行動が敏しょうで、天井裏、高層建物の上階に多く、あまり野外には出ません。

ドブネズミは、床下、地下室、台所の流しの下などに住んでいます。田畑、石垣、下水溝などに巣くって、大都会では、夜の帝王として暴れまわっています。

ハツカネズミは夜店などで売っている白いネズミの原種です。最近、アパートなどにも多く住みついていて、昼間でも出没しています。からだは小さいが、なかなか手ごわい相手です。

また増えてきたゴミ もう一度役立てよう

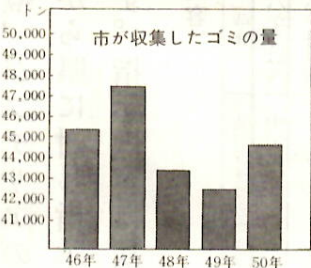


四十八年の「石油危機」以降、急速にダウンしていたゴミの排出量が、また増えてきています。かつて「文化のバロメーター」といわれ、品物は捨てることを前提に大量生産されてきました。しかし、最近ではこうした考えかたに行きつまずり、浪費生活を改め、限りある資源を有効に、大切に使うようになってきています。しかし、「ノドもと過ぎれば熱さを忘れる」ということわざもある通り、物を大切に「の心も薄れがちです。ゴミとして出す前に、もう一度使えないかよく考えてから出したものです。日常生活の中からムダをなくし



荻窪埋立地に毎日集ってくるゴミ

物を大切に使う心を養い、ゴミを少なくするよう、だれもが心がけたいものです。＊家具や電気製品は、もっと働きたいのです。働かしてあげましょう。＊新聞、雑誌、空びん、空かん



ゴミ・キケン物は きめられた日に

ゴミは週に二回、キケン物は週一回それぞれ決められた日に収集しています。いままでに収集した収積場所付近の人が大変迷惑しています。ゴミ・キケン物は、決められた日以外絶対に出さないよう、お互いに注意しましょう。また、ゴミとキケン物を分けて出す人もいます。これが、取り残しや収集場所のよごれの原因となります。ゴミのルールをよく守り、収積場所はいつもきれいにしておきましょう。

祝日のこみ・キケン物収集
2月11日(水)のこみ・キケン物収集は、祝日のため休ませていただきます。この日が収集日に当る地区の家庭では、次の収集日に出してください。なお、今後の祝日(振替休日を含む)のこみ・キケン物収集も、原則として休みとなりますのでご承知ください。

最近、ジュース類やインスタント食品などの自動販売機が、各所にお目見えしています。全国では二百万台以上が利用されているといわれます。こうした、いちじるしい普及の反面、なかには機械の故障で「つり銭が出ない」「品物が出ない」「表示の商品見本と違う」などの苦情も少なくありません。故障や苦情をどこへ言ったらよいのか、はつきりわからない、という声も



聞かれます。そこで、消費者のみなさんが安心して利用できるよう、昨年十二月から国の指導で、販売機の正面の見やすいところに、管理者の名まえ、所在地、電話番号を書いたステッカーが貼られることになりました。ただし、店の中、駅の乗車券自動販売機など、いつでも苦情が申し出られる場所にある販売機には、ステッカーを貼られませ

- 現金六十九万五千円 群馬中央バス(株)および同社前橋営業所従業員一同から交通遺児救済基金として。
- 現金十萬円 前橋中央駅前通り商工会(今泉幾太郎会長)から社会福祉事業基金として。
- 男子供帽子二百個・スカート十八枚 後閑町一八、熊井はつさんから。
- 現金一萬円 紅雲町一丁目二二四、富沢志津さんから。
- 現金一萬五千円 天川大島町原町月例会のみなさんから。
- 現金一萬四千円 住吉町一丁目四一、河島勇三さんから市内施設へ。
- 現金一萬九千九百三十三円 南町三丁目老人クラブつみ会(中島幸平会長)のみなさんから。
- 現金一萬円 江田町の一市民のかたから老人福祉のために。
- 画用紙二百枚・クレヨン五箱・色紙十八束 前橋田町二丁目三六、高橋能里子さんからしろがね

- 現金一萬円 日吉町の一市民のかたから老人福祉のために。
- 現金七千円 南町一丁目二四、岡田一さんから図書館・上毛愛隣社・鐘の鳴る丘少年の家へ。
- 現金五千七百円 日本警備保障上信越(株)群馬支社のみなさんから。
- 現金千円・衣類 元総社町一八七九、磯田さんから。
- 現金三萬四千四百七十二円・毛糸 糸物七二点 群馬電算計算センター互助会(平石達人会長)のみなさんから。
- 現金二千六百円・ぞうきん百枚 朝日が丘老人クラブあけぼの会(林正明会長)から老人福祉のために。
- お手玉百八十五個 鈴木裁縫女学校三年生のみなさんから。
- ねまき二十四枚・タオル二百本 ぞうきん五十五枚・その他多数 大利根町婦人会(堀越千鶴会長)から。



あたにかい
こい

- 現金二千円 緑が丘町二〇〇〇、須藤泰子さんから。
- 現金八萬一千三百六十六円(社会福祉のために) 五万円の品物・努力奉仕(フランチスコの町へ) 県立前橋商業高校インターアクトクラブ(小野沢光隆会長)のみなさんから。
- 現金二萬七千九百九十五円 総社町植野、立見建設(株)社員のみなさんから。
- 餅一白 匿名のかたから前橋老人ホームへ。
- 現金五萬円 西片貝町の匿名のかたから。
- 現金一萬円 朝日町一丁目五一三、故平山米代さんから。
- 現金五千八百八十八円 かののみ会(野真実会長)のみなさんから。
- 現金八千五百四十五円 サンヨ食品(株)社員のみなさんから。
- 現金六萬円 若宮町四丁目、三進木材(株)から。
- 現金一萬八千八百七十三円 西友ストア 前橋店から。

- 現金十五萬円 岩神町二丁目泉野建設株式会社(泉野修哉代表)から創業五十五周年を記念して市立図書館へ。
- 映画フィルム「太郎鯉」(二十万相当) 太郎鯉を見る会(内山秀三・村田康男代表)から市立図書館へ。
- 母と子の世界名作絵物語集他十三冊 三保町の玉村泰子さんから市立図書館へ。

- 現金五萬円 岩神町四丁目十五一、二、池下治作さんから。
- 現金三萬円 川原町、永井ヒロ子さんから。
- 現金五萬円 淡交会群馬支部青年部のみなさんから。
- 現金六萬円 若宮町四丁目、三進木材(株)から。
- 現金一萬八千八百七十三円 西友ストア 前橋店から。

詩のふるさと・前橋

北原白秋 ①



題字・伊藤信吉

雪の東照宮
今日、現存する萩原朝太郎の書簡は約四百四十通ほどがある。それはすべて「萩原朝太郎全書簡集」(人文書院版)に収められている。宛書簡の最も多いのが北原白秋で百十九通。次が室生犀星の八十五通である。このことからいかに朝太郎と白秋の関係の深かったことが推測出来るのである。「わずかの時日の間にあなたはすっかり私をとりこにされてしまった、どれだけ私があなたのために薫育され感概されたかといふことをあなたには御推察出来ますか」と夜になれば涙を流して白秋氏に書いたと絶叫した一人のときの私を想像してください。これは大正三年十月二十四日付、(推定)の白秋宛朝太郎書簡の部分である。その四日後さらに次のような手紙を書いてい



納額で長い風雪に耐えて、現在では文字もはつきりしない。社殿をめぐる玉垣は鉄製であるが、今日では石材の立派なものに変わった。これも又、時の流れである。六十余年後のいま、その場所に立つてみると、前方には、赤城の全貌がある。松の木と中央公民館の堂がある。おそろくこの風景は当時のまゝだったろう。写真の白秋の視点はそのあたりをみてゐる。眼下、上越連山の雪、榛名山。これも変らない。境内に梅の古木が数本あった。正月の風は冷かったが、白梅はもうはこぼはじめようとしていた。

「北原さん、僕んとこへ来てください。あした朝一番で前橋へきてください。」明治十八年生まれの白秋と、十九年生まれの朝太郎はわずかに一歳違いではない。しかし、朝太郎が白秋にめぐりあった頃は、「邪宗門」「思ひ出」の詩人としてすでに一家をなしていた。無名時代の朝太郎にとって白秋の存在は大きく、尊敬に値する師でもあった。この二つの手紙が示すように、何とかして前橋に白秋を招きたい気持ちを切々と綴っている。あまえるごとく、うたえるごとく、心の飢渴の暗い日録でもある。北原白秋が前橋に遊んだのは、大正四年一月七日(推定)から約一週間のことであった。この年の